

# 2013特別見学ツアー報告書

## [神谷神社/坂出市]

かんだに

参道の鳥居(一の鳥居)/額東には「神谷神社」とある



石柱には「國寶 神谷神社」とある



### 国宝 神谷神社本殿

当社は延喜式内讃岐二十四社の一で、貞観七年十月  
從五位上を、同十七年正五位下を授けられた古社である。  
本殿はその比叡堂木に「正一位神谷大明神御室殿一字、  
建保七年己卯二月十日正月始之惣堂兼位刑部宿弥正長  
の墨鏡がまつ、鎌倉時代初期の建保が明らかな三間社流  
札造りで、この建保様式は平安時代初期に完成したと考  
えられているが、当初のまま現存するこの種の社殿とし  
ては最古のものである。舟肘木あるいは和様三斗の組  
物、槍地仕上げの丸柱、大きく面を取った角柱などによく  
時代をまわして居り、正面七段の階段と昇勾欄、縁側の  
列勾欄、板唐戸などよくこの建築に調和して荘厳且つ優雅  
である。建築史上貴重なもので昭和二十九年十二月二十  
二日、国宝に指定されている。

#### 重要文化財、木造隨身立像

係高二五親介の阿、咩一對の立像で、ともに巾子冠  
をいたたき、狩衣を着け、両腕を外方に張って持物を執  
つた姿をしている。両像とも椽材で頭部は袍襟内の欄状  
平面に丸柄立て頭部を載せ、一材でつくった袖を肩で知  
さ着けているが、内刻りは無く一種の木造りである。  
冠と髪を黒で塗るほかは、素地であるが所々に下地がみ  
められるので、もとは彩色があったと考えられる。面相  
は写実的に深い文褶と頼る衣紋の様なと鮮やかな力強く、  
図を本殿の造営された建保七年(一一九)をあまり降ら  
ない頃のものと考えられ、わが国神像彫刻中でも異色の  
ものである。

石碑には「延喜式内 正一位 神谷神社」とある



こんなものも



更に進むとこの前方の山裾に神谷神社があるようだ



ここが神谷神社/境内の鳥居(二の鳥居)/手水舎の奥に石造層塔二基(室町時代)がある



正面は拝殿/昭和2年の火事で消失し、昭和5年に再建されたもの













拝殿から本殿を望む/ここからは境内に入れない



振り返って見る





さて、右側の築地塀に沿って進むと鳥居の先に経塔(六角の石塔)があった/鎌倉時代末期のものという







また、こんなものもあった/この他、社殿の后方に影向石(磐座)という古代祭祀の址があるというが見落としてしまった



影向石(磐座)について

<http://www10.ocn.ne.jp/~veeten/iwakura/kagawa/kanndani.html>

境内の外から本殿を見る/右手の潜り戸から境内に入ろう



高い自然石の乱積みの基壇の上に建つ三間社



本殿/国宝/鎌倉時代前期/屋根は檜皮葺きの流造/流造としては現存最古のもの/屋根材と板扉以外は建立当時のものという



妻面は猪叔首の妻飾り



外壁は横羽目の板張り



背面/ヤリ匏仕上げの丸柱や長押





高欄付の縁は正面から見える範囲のみに付き、神社建築の正面性の強さが見てとれる







跳高欄は反りが少なく、古式の様相を示す/側面に扉がある(珍しいという)





向拝の角柱は大きな面取りがなされている/角材の階段も鎌倉建築の特徴をよく表しているという



向拝の組物は平三斗



本殿の組物は簡素な舟肘木/身舎の柱は丸柱/身舎柱と庇柱を繋ぐ繋虹梁が長押に取り付いている(古式の特徴)





柱は礎石立ち/仏教建築の影響を受けているという





これは収蔵庫のようだ



重要文化財の木造隨身立像二体(鎌倉時代)が収蔵されている



これは神輿庫か？



残念石



# 残念切りの石

その昔他国から狼籍者が  
徒党を組んで当神谷神社  
の社殿及び境内で狼籍を  
働かんとして此所まで来た  
時無数の熊蜂が群をなして  
飛び来り境内に二歩も進  
む事能わす残念の余り  
傍にありし石を刀を以て  
切りつけ其のうづ憤を晴ら  
して退散したを云い伝えられて

これが石を刀で切りつけた跡という





参道の途中にある荒神社



ここは一字一石経塚





一字石経塚跡

この附近に阿弥陀堂  
があつた頃经文を  
淨な円い扁平な川の  
石に一字を彫り書  
し埋めたりを築いた  
遺跡であります。

疫病などを防ぐため扁平な川原石に経文を一字ずつ書き写し埋めて供養した経塚という



参考ホームページ

[http://www.genbu.net/data/sanuki/kamiya\\_title.htm](http://www.genbu.net/data/sanuki/kamiya_title.htm)

[http://aunkomainu.at.webry.info/201205/article\\_26.html](http://aunkomainu.at.webry.info/201205/article_26.html)

<http://kare2009.exblog.jp/17062220/>

<http://tetsutanaka.blog58.fc2.com/blog-entry-216.html>

<http://kankodori.net/japaneseculture/treasure/127/>

<http://www010.upp.so-net.ne.jp/teiryu/Kg02.html>

